

〈報道発表資料〉

都市デザイン部 都市計画課
担当 課長 山口
直通 048-996-3904
E-mail:toshikeikaku@city.yashio.lg.jp



がいかんやしお
**(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの
「新規事業化」が決定**

当市では、東京外環自動車道の草加IC～外環三郷西ICの間においてスマートインターチェンジの設置に向けた検討を進めてきました。

令和4年9月30日、国土交通省から「(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジ」の、新規事業化の決定が発表されました。

1 市長コメント

本日、国土交通省より(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの新規事業化が決定されました。

この度の新規事業化の決定を大変嬉しく思うとともに、これまで多大なるご尽力をいただきました国土交通省、埼玉県、東日本高速道路株式会社をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本スマートインターチェンジの整備により、周辺地域の交通利便性の向上や地域産業の活性化など様々な整備効果が期待され、本市を含め県東南部の更なる発展に寄与する大変重要な施設であると考えております。

引き続き、地元の皆様方や関係機関のお力添えを頂きながら、(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの早期開通を目指し、事業を進めるとともに、「住みやすさナンバー1のまち八潮」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

令和4年9月30日

八潮市長 大山 忍

2 参考資料

- ・スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について／国土交通省プレスリリース資料より抜粋加工



令和4年9月30日
道路局

スマートインターチェンジの 高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について

国土交通省は、スマートインターチェンジ7箇所について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。

併せて、新たにスマートインターチェンジ4箇所について準備段階調査に着手します。

別添①：スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可について

別添②：スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添③：スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所について

<問い合わせ先>

国土交通省 道路局 代表 TEL 03-5253-8111

高速道路課 御器谷、高橋（内線：38362、38353）

直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

スマートインターチェンジ※¹の高速道路会社への事業許可

別添①

スマートインターチェンジの新規事業化箇所

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	連結位置	路線名	事業主体
しんとく ※ ³ 新得	北海道 ^{かみかわ} 上川郡新得町	北海道横断自動車道黒松内釧路線(トナムIC ^{とかちしみず} ～十勝清水IC間)	NEXCO東日本 (新得町)
はちまんたい 八幡平	岩手県 ^{はちまんたい} 八幡平市	東北縦貫自動車道弘前線(松尾八幡平IC ^{まつおはちまんたい} ～安代IC間) ^{あしろ}	NEXCO東日本 (八幡平市)
ちよだ 千代田PA	茨城県かすみがうら市	常磐自動車道(土浦北IC ^{つちうらきた} ～千代田石岡IC間) ^{ちよだいしおか}	NEXCO東日本 (かすみがうら市)
あしかが 足利	栃木県 ^{あしかが} 足利市	北関東自動車道(太田桐生IC ^{おおたきりゅう} ～足利IC間) ^{あしかが}	NEXCO東日本 (足利市)
けみがわ まさご 検見川・真砂	千葉県 ^{ちば} 千葉市	東関東自動車道水戸線(湾岸習志野IC ^{わんがんならしの} ～千葉北IC間) ^{ちばきた}	NEXCO東日本 (千葉市)
がいかんやしお 外環八潮	埼玉県 ^{やしお} 八潮市	常磐自動車道(東京外環自動車道)(草加IC ^{そうか} ～外環三郷西IC間) ^{がいかんみさとにし}	NEXCO東日本 (八潮市)
かんだ 神田	滋賀県 ^{ながはま} 長浜市	北陸自動車道(長浜IC ^{ながはま} ～米原IC間) ^{まいはら}	NEXCO中日本 (長浜市)

※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

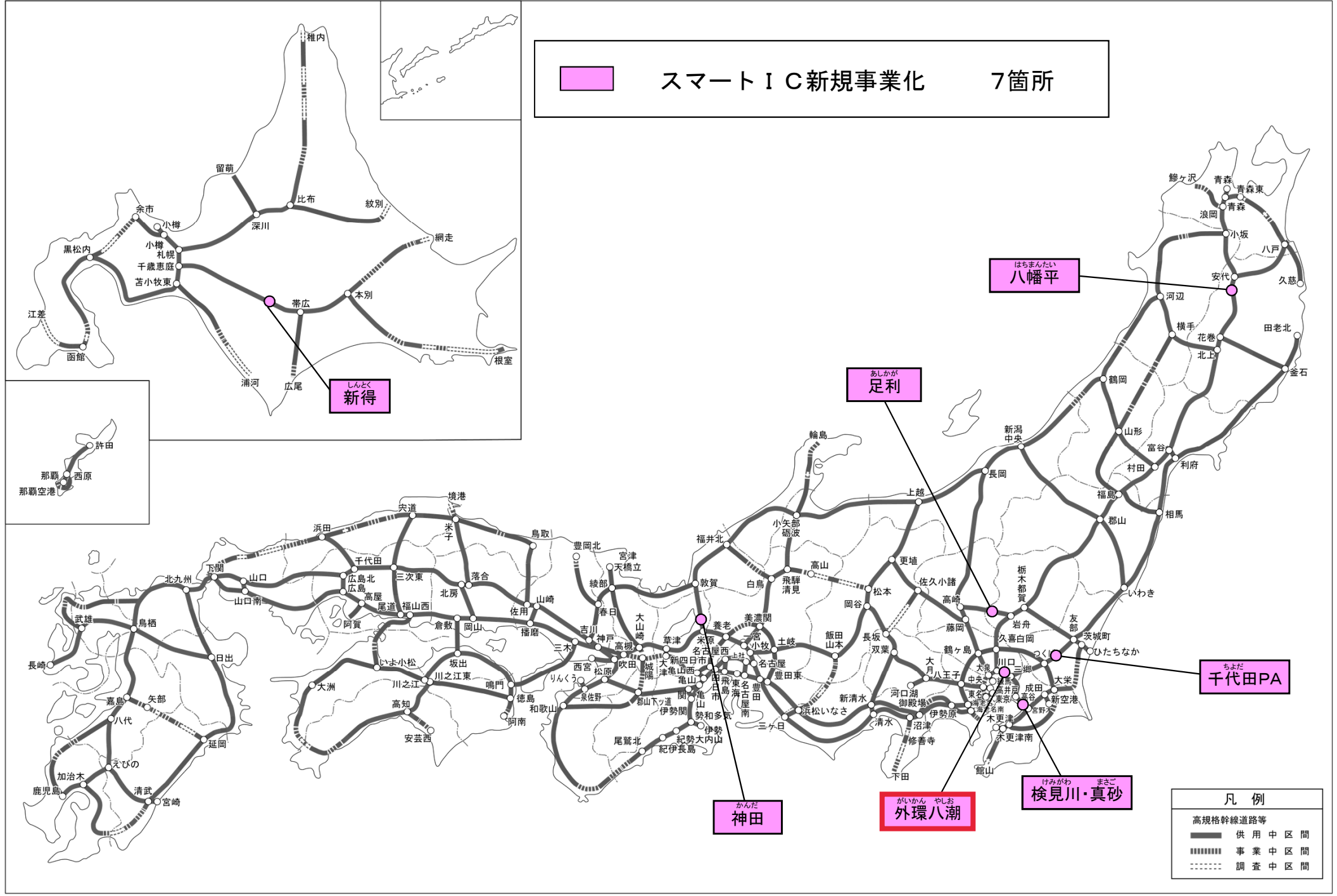
※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※³ 新得スマートIC(仮称)の事業化に合わせて、新得パーキングエリア(仮称)も事業化されます。

スマートインターチェンジの新規事業化箇所図

別添①

スマートIC新規事業化 7箇所



凡例

高規格幹線道路等	供用中区間
事業中区間	調査中区間

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

■東京外環自動車道 外環八潮スマートIC(仮称)

整備効果 地域産業の活性化

<概要>

- 路線名 : 常磐自動車道(東京外環自動車道)
そうか がいかん みさとにし
 (草加IC~外環三郷西IC間)
- 設置場所 : 埼玉県八潮市
やしお
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向(4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

・外環八潮スマートICの整備により、工業団地から東京外環自動車道へのアクセス性が向上し、輸送の利便性向上による業務効率化や地域産業の活性化が期待される。



※実走調査は、令和3年12月及び令和4年2月に実施し、時間帯はいずれも平成27年度全国道路・街路交通情勢調査におけるピーク時間帯の17時台整備後の所要時間は、工業団地から外環八潮スマートIC(仮称)予定位置までの走行時間に同予定位置から隣接ICまで東京外環自動車道を走行した際の時間を加算して算出

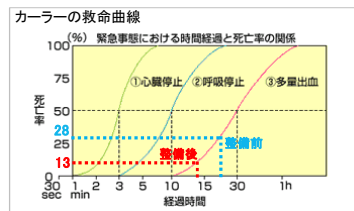
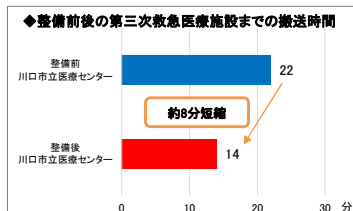
<位置図>



整備効果 救命救急体制の強化

・外環八潮スマートICの整備により、市内団地から東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設までの搬送時間が約8分程度短縮され、搬送先の選択肢が増え、救命救急体制の強化が期待される。

【市内団地から近隣第三次救急医療施設への搬送ルート】



救命隊員の意見

第三次救急医療施設が不足しているため、第2、第3の搬送先を選択することがあります。

外環八潮スマートICの整備によって、長距離・長時間の移動を強いられる、他地域への搬送時間の短縮が期待でき、二分一秒を争う救急活動において、救命率の向上が期待されます。

※東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設を想定。搬送時間については、令和3年12月の草加八潮消防組合からの聞き取り結果(一般道:30km/h、高速道路:80km/hでの緊急走行を想定)から算出

搬送時間の短縮により、多量出血患者の死亡率は減少(約28%⇒約13%)